

# ティフトン419芝苗

## ◇ティフトン419

バミューダ系の暖地型の芝で種子はなく、地上および地下ほふく茎で増殖する栄養繁殖性です。踏圧・擦り切れからの回復力が強いことからサッカー場などの競技場にポピュラーに利用されています。最近では園庭・校庭芝生化にもよく利用されます。

### ■ 植え付け時期

4月中旬～7月中旬

### ■ 基盤整備

苗を植える場所及び苗が広がる予定の場所の石ころやごみを取り除き、でこぼこがあれば表層を耕しトンボやレーキを使って平らにします。(必要に応じ土壌改良材を混合してください)

つぎに化成肥料 50g/m<sup>2</sup> (N10:P10:K10) 程度を散布しレーキで土にからませます。

### ■ 植え付け

植え付け穴(5cm 角の苗より少し大きめの穴)をあけセルトレー苗 4 個/m<sup>2</sup>～9 個/m<sup>2</sup>を均等に植え付けます。

植え付け数が多いほど早く仕上がります。苗を植える際少し深めに植えて株が地面から浮かないようにします。

植え付けが終わったらたっぷりと水をかけます。

苗が活着するまでは乾燥に気をつけこまめに水をあげてください。

### ■ 管理

生育旺盛な芝ですので6月～10月までの芝刈は刈り高を25～35ミリで一定の高さを維持します。伸ばしすぎると次に刈るときに軸刈りになりダメージです。この時期の一回の施肥量は20g/m<sup>2</sup>(N10:P10:K10)程度です。

散水は乾燥に気をつけ湿潤状態をたしかめその都度適切に行ってください。